

パブリック用手すり樹脂被覆タイプ



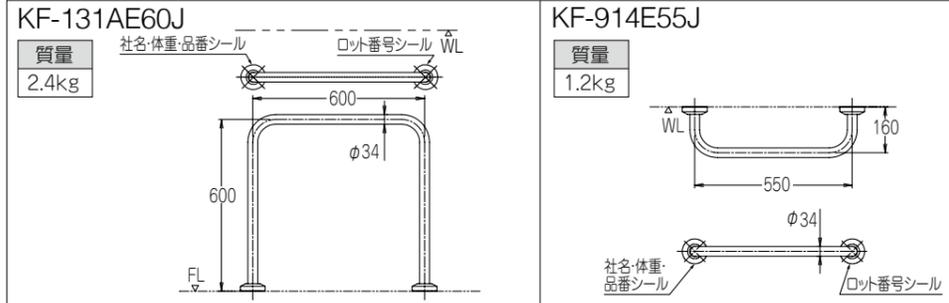
このQRコードはメーカー管理用です。

最大使用者体重	100kgまで
材質	〈手すり(被覆材)〉 エラストマー 〈手すり(芯材・ブラケット)〉 ステンレス 〈ブラケットカバー〉 ABS樹脂

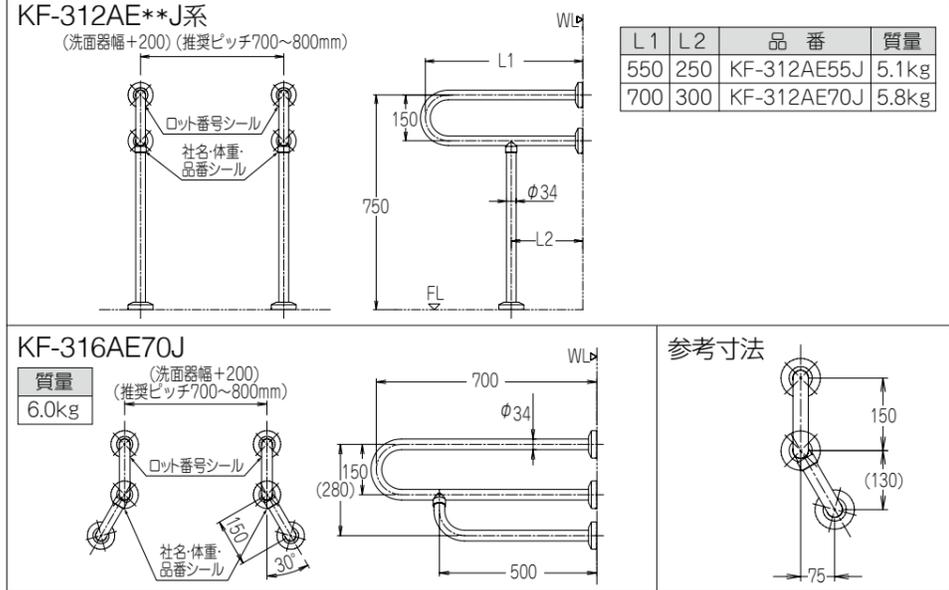
KF-131AE**J	KF-525AE**J	KF-920AE70D12J
KF-914AE55J	KF-701AEJ	KF-922AEL(R)80J
KF-312AE**J	KF-912AE70J	KF-923AE70J
KF-316AE70J	KF-910AE**J	KF-926AE80D25J
	KF-913AE60J	KF-927AEL(R)80J

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

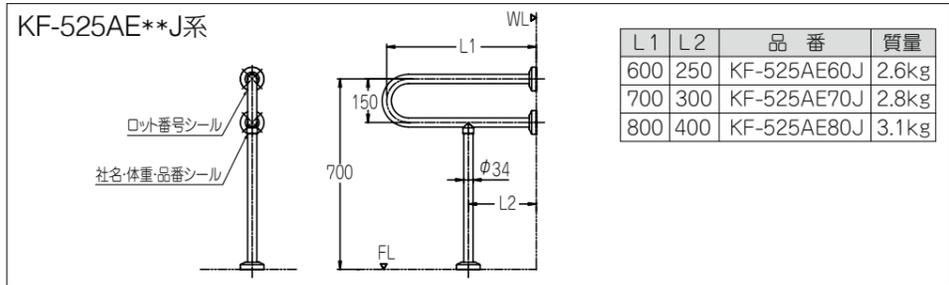
商品図 和風便器用



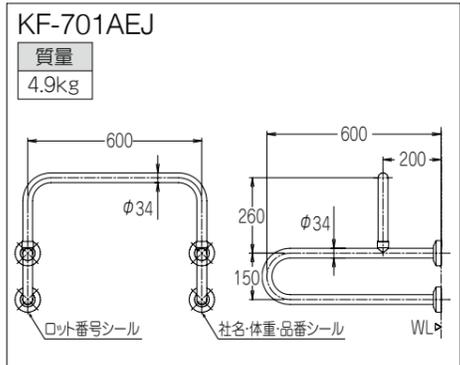
洗面器用



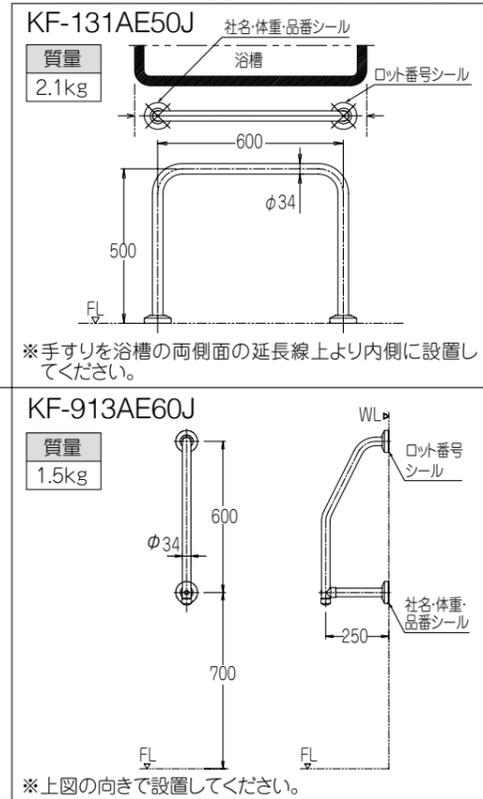
洋風便器用



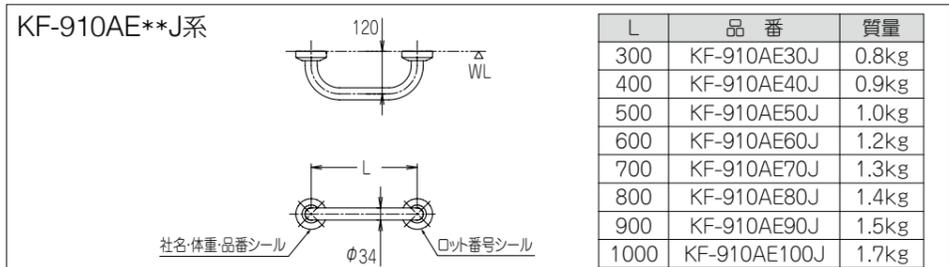
小便器用



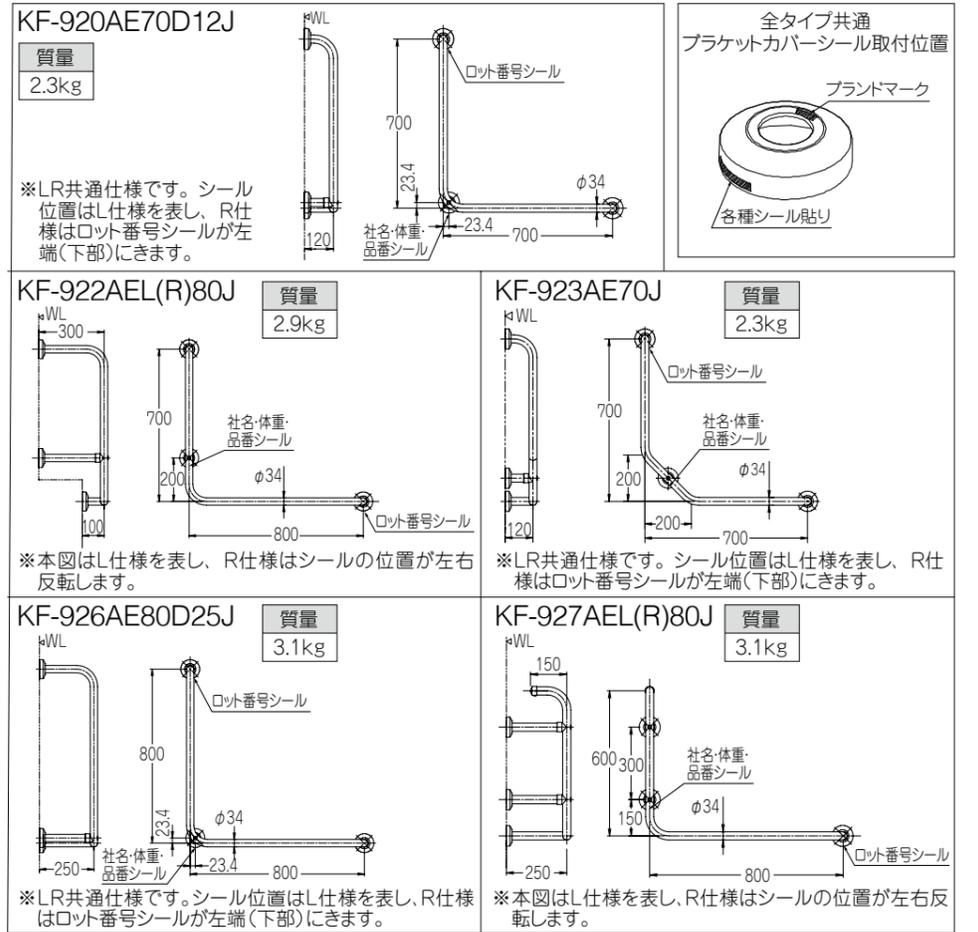
浴室用



多目的I型



多目的L型



【特注・サイズオーダー品の仕様について】

- 福祉用具ー固定形手すりのJIS規格(JIS T 9282)に準拠していません。
- JIS規格で規定された社名、体重、品番、ロット番号の記載シールは貼られていません。
- ※JIS規格準拠品は品番末尾が「J」の製品です。本説明書の製品寸法、質量、最大使用者体重はJIS規格準拠品の仕様を示しています。

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工後はお客さまにご使用方法を十分にご説明ください。ご使用方は、取扱説明書：「●ご使用上の注意 / パブリック用手すり樹脂被覆タイプ」に記載されていますので、必ずお渡しください。
- この施工説明書はお客さまに保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

- 注意** 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- 禁止** 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- 禁止** 「してはいけません！」(一般的な行動指示記号です。)
- 指示実行** 「分解してはいけません！」
- 指示実行** 「…指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

注意

強度のある壁・建築構造体に確実に取り付けてください。 ※強度のない壁(石こうボード・土壁等)に取り付けると手すりの脱落や壁の破損によりケガをする恐れがあります。	禁止
屋外や水没する場所に取り付けしないでください。 ※手すりの破損や脱落により使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。	禁止
和風便器用手すりは周辺の固定物との空間、設置位置を確認し、安全な隙間(120mm以上)を確保してください。 ※身体の一部(首など)が手すり固定物と固定物の間に挟まれてケガをする恐れがあります。	禁止
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	指示実行
建築構造に合った施工方法により、外れたり、ガタが生じないように強固に取り付けてください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	指示実行
浴室など手すりに直接水がかかる場所へ取り付けの場合は、シーリングを行うなど防水対策を行ってください。 ※壁裏に浸水し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。特に床固定部に水がかかる場合は、手すり固定部が腐食し、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	指示実行
(I型、KF-131AE**J以外の品番の場合) R座金は説明書の指示に沿って、上下の向きを確認して取り付けてください。 ※手すりのガタつきや強度不足の原因となります。	指示実行
施工時に硬いものをぶつけたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。 ※商品が傷ついたり、破損して、ケガをする恐れがあります。	指示実行

落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件を守り後述の「●固定方法」に従って、固定してください。

〔乾式壁の場合〕

- 石こうボード等のボード張りには、木ねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木(補強木)を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
- 取付木(補強木)は柱または間柱に固定してください。
- ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。厚さが12.5mmを超える場合は、越えた分だけ長いねじを別途用意してください。

〔湿式壁の場合〕

- ALC板やコンクリートブロックの中空洞には取り付けできません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木(補強木)を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

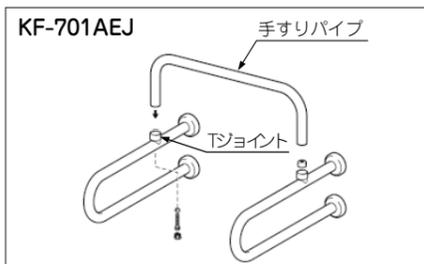
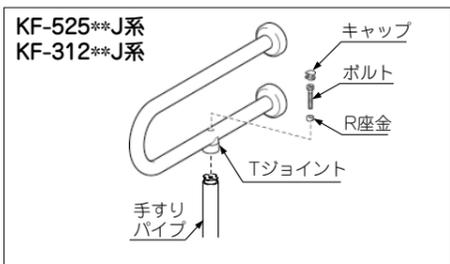
●施工前のご注意

- 施工には別売の施工部材をお使いください。
- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れが取れなくなる恐れがあります。
- フランジカバーをずらすときには、必ずまっすぐかつ、ゆっくりとずらしてください。
※被覆材にキズがつく恐れがあります。
- 手すりの取付位置は安全性に配慮し、現場で十分ご確認ください。

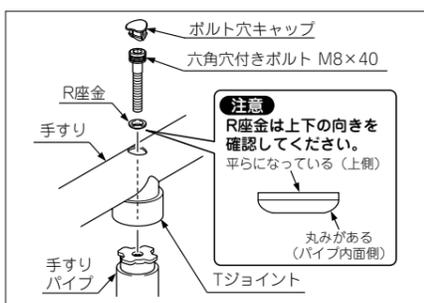
●施工方法

1. 手すりの組み立て

I型、L型、KF-131AE**J以外の品番は、最初に手すりを組み立てます。Tジョイントに手すりパイプを差し込んで付属の組立用ボルトでしっかりと締め付けます。
※必ず、組み立ててから、固定をしてください。手すりを固定した後では、組み立てられないことがあります。また、後から無理に組み立てると、Tジョイントに無理な力が加わり、割れたりする恐れがあります。



- (1) 手すりとTジョイントをはめ合わせます。
※Tジョイントに無理な力を加えないでください。
- (2) R座金をパイプ内面のRに合うように、ボルトと一緒に挿入します。

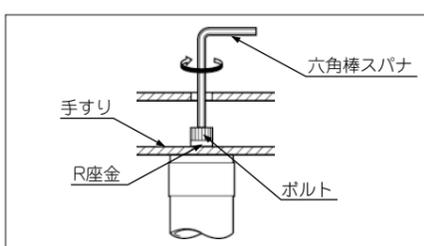


R座金は説明書の指示に沿って、上下の向きを確認して取り付けてください。
※手すりのガタつきや強度不足の原因となります。

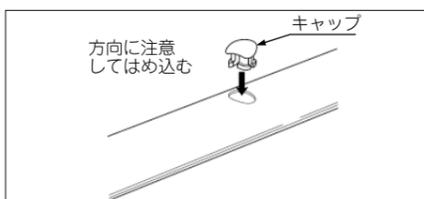


指示実行

- (3) ボルトを同梱してある六角棒スパナでパイプ内面に押し付けながら強く締め付けます。
※締め付けが不十分な場合、後で手すりがガタつく恐れがあります。

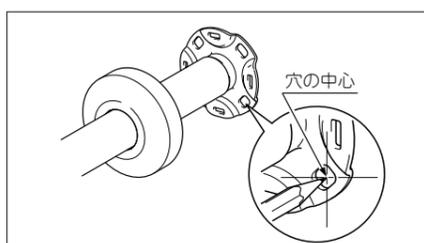


- (4) ボルト穴キャップをパイプのRに合わせはめ込んでください。
※方向をまちがえると指を引っ掛けケガの原因になります。



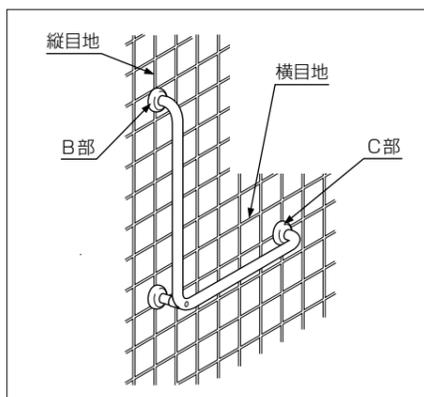
2. 手すりの取付位置決め

組み立てた手すりを壁・床にあて、現物合わせにて取付位置を決め、下穴位置をマークします。
※必ずフランジ取付穴の中心にマークしてください。手すりをしっかり固定できないことがあります。



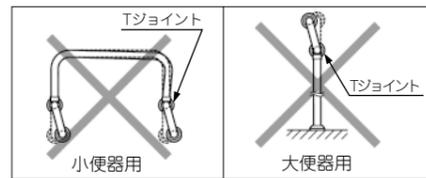
〔L型手すりの場合(注意事項)〕

※手すりの曲げ角度は完全な直角ではない場合があります。
したがって、タイルの目地にあわせて取り付ける場合には、取付部Bをタイルの縦目地に、取付部Cをタイルの横目地にあわせてください。



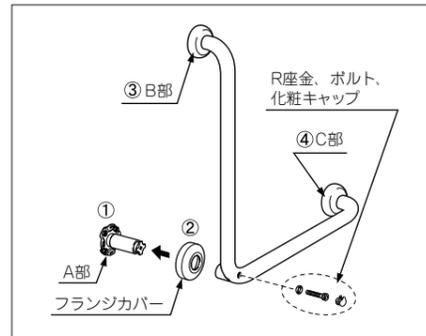
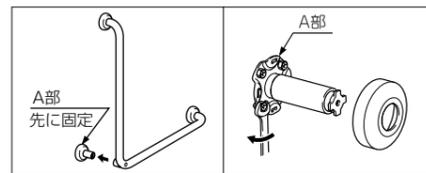
3. 手すりの固定

後述の「●固定方法」に従って手すりを壁・床に固定します。
※手すりに無理な力が加わるような状態で施工しないでください。Tジョイントが割れたりする恐れがあります。又、KF-525AE**J系ほかのU形手すりパイプを含む製品は隙間が広がって頭が挟まり、ケガをする恐れがあります。



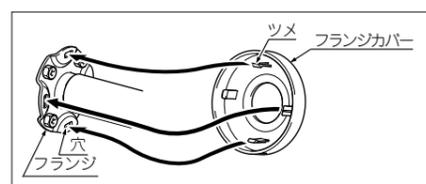
〔L型手すり(KF-920AE70D12J他)の場合(注意事項)〕

※位置決め後、まずA部のみを手すり本体から外して、A部のみを先に壁に固定します。次にA部にフランジカバーを組み込んだ後、残りの部材を組み付け、B部とC部を壁に固定します。

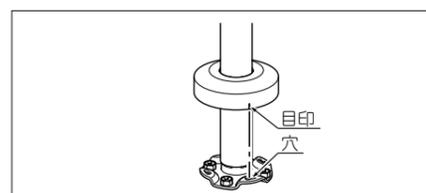


4. フランジカバーの取付け

フランジカバー内側の4本のツメがフランジの穴に入る向きで、壁面に接するまで押し込んでください。



フランジカバーについている目印を参照して、ツメと穴の位置を合わせてください。



●固定方法

施工部材は別売です。壁の状況にあわせて選択し、別手配してください。

KF-D3(1P) あと施工アンカー(芯棒打込み式)セット セット内容: あと施工アンカー(芯棒打込み式) (M6) 1本 ナット (M6) 1ヶ 平座金 1ヶ バネ座金 1ヶ 定価: ¥380 (税抜)	KF-D4 ボルトナットセット セット内容: ボルト (M6) 4本 ナット (M6) 4ヶ 平座金 8ヶ バネ座金 4ヶ L=64 定価: ¥550 (税抜)
KF-D12 取付プレート セット内容: プレート 1枚 φ11穴 ※KF-D3やAY-55FNで固定するときなどに使います。 M6×1 ※KF-D4をねじ込むときに使います。 定価: ¥900 (税抜)	KF-D16 コーチネジセット セット内容: コーチネジ (φ6) 4本 平座金 4ヶ バネ座金 4ヶ L=50 定価: ¥550 (税抜)
KF-D20 軽量鉄骨用取付金具 セット内容: 取付金具 1枚 ドリルねじ (φ4) 8本 定価: ¥9,500 (税抜)	KF-D21 軽量鉄骨用取付金具 セット内容: 取付金具 1枚 ドリルねじ (φ4) 8本 定価: ¥14,100 (税抜)
KF-D23 はさみ込みプレート(パーティション用) セット内容: プレート 1枚 M6皿頭用 定価: ¥3,500 (税抜)	KF-D24 コーチネジセット セット内容: コーチネジ (φ6) 4本 平座金 4ヶ バネ座金 4ヶ L=30 定価: ¥550 (税抜)
KF-D30 中空壁用アンカーセット セット内容: 中空壁用アンカー (M6) 4本 ボルト (M6) 4本 平座金 4ヶ バネ座金 4ヶ 定価: ¥2,800 (税抜)	KF-D31(1P) あと施工アンカー(本体打込み式)セット セット内容: あと施工アンカー(本体打込み式) (M6) 1本 定価: ¥300 (税抜)
KF-D45 ドリルねじセット セット内容: ドリルねじ (φ5) 4本 平座金 4ヶ L=50 定価: ¥650 (税抜)	AY-55FN AYボルトセット セット内容: AYボルト (M6) 4本 定価: ¥1,800 (税抜)

【コンクリート下地】

(1) 取付プレート固定

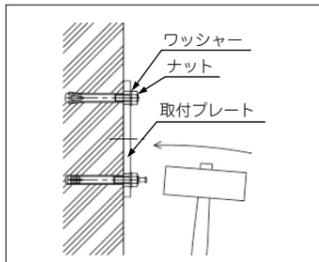
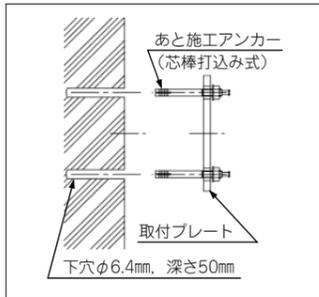
施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D12 1枚 • KF-D3(1P) 4セット 	<ul style="list-style-type: none"> • 寸切ボルトM6×(モルタル厚+仕上厚+12mm) 4本 • ナット (M6) 4ヶ • 平座金 4ヶ

- ① 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置をけがきます。あと施工アンカー（芯棒打込み式）の下穴をφ6.4 mmのドリルで約50 mmの深さにあけます。

注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

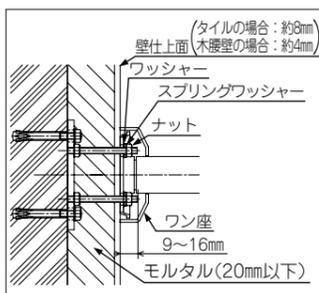
あと施工アンカー（芯棒打込み式）のナットをアンカーボルトの上端より2～3 mmねじ込み、取付プレートの取付穴(外側の穴)に通して下穴に差し込んでください。

注意 あと施工アンカー（芯棒打込み式）は必ずコンクリート下地に30 mm以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。



- ③ 取付プレートのボルト穴に寸切ボルトをねじ込み、ナットで締め込んでください。寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9～16 mm出る長さが必要です。

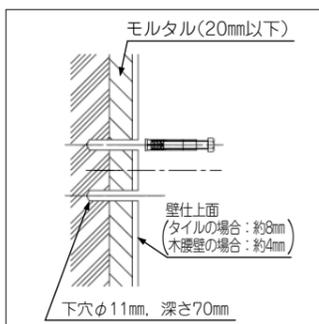
- ④ 壁を仕上げた後、フランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。



(2) AYボルト固定

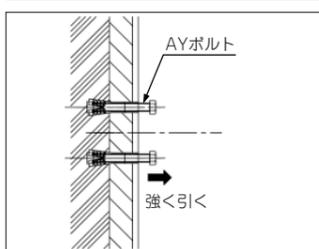
施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • AY-55FN 1セット 	(なし)

- ① 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置をけがき、ドリルで下穴をあけます。(下穴φ11 mm, 深さ70 mm)

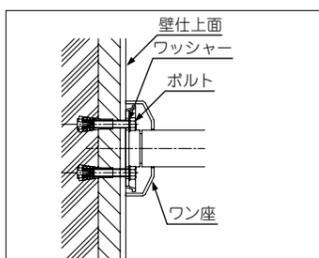


- ② AYボルトを差し込んで、下穴の入り口面でゴム筒の端を押さえ、ボルト部を強く引っ張ってボルトをしっかりと固定します。

注意 AYボルトはコンクリート下地に必ず30 mm以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。



- ③ いったんボルトをはずして、手すりを取り付けます。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

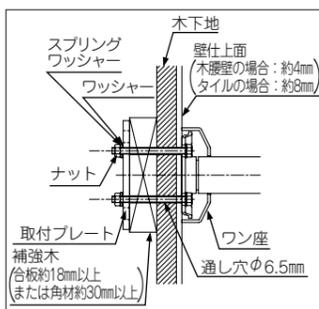


【木下地】

(1) はさみ込み固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D12 1枚 • KF-D4 1セット 	(なし)

- ① 事前に手すり取付部に補強木を取り付けてください。
② 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置を決め、φ6.5 mmのドリルでボルトの通し穴をあけます。ボルトをワッシャーとフランジの取付穴に通して、通し穴に差し込みます。
補強木：合板18 mm以上または角材30 mm以上

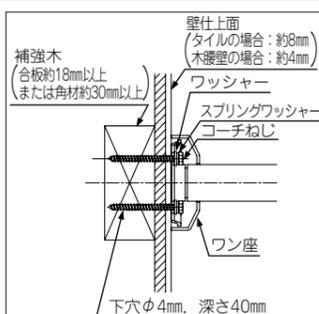


- ③ 壁の裏側から取付プレートをあてて、スプリングワッシャー、ナットで強固に締め付けます。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

(2) コーチねじ固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D16 1セット 	(なし)

- ① 事前に手すり取付部に補強木を取り付けてください。
② 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置を決め、木部の下穴をφ4 mmのドリルであけます。
※仕上げがタイルの場合は、タイル部のみφ6.5 mmの下穴をあけてください。



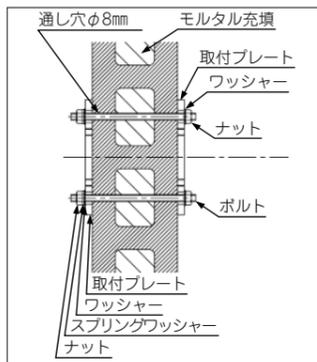
- ③ コーチねじにワッシャーを通し、フランジの取付穴より手すりを固定してください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。
補強木：合板18 mm以上または角材30 mm以上

【コンクリートブロック下地】

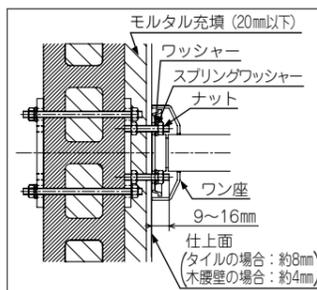
取付プレートはさみ込み固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D12 2枚 	<ul style="list-style-type: none"> • 寸切ボルトM6×(モルタル厚+仕上厚+12mm) 4本 • 寸切ボルトM6×(ブロック厚+20mm) 4本 • パネ座金 8ヶ • ナット (M6) 16ヶ • 平座金 12ヶ

- ① 手すり現物を壁にあてて取付位置をけがきます。取付プレートの外側の穴に合わせて、φ8 mmの通し穴をドリルであけてください。寸切ボルト(現場調達)を通し穴に差し込み、ブロック両側に取付プレートをあてがって、両側よりナット、ワッシャーで締め付けてください。



- ② 手すり取付側の取付プレートのボルト穴(内側の穴)に寸切ボルト(現場調達)をねじ込み、ナットで締め付けてください。寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9～16 mm出る長さが必要です。



- ③ 壁を仕上げた後、フランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

【GL工法】

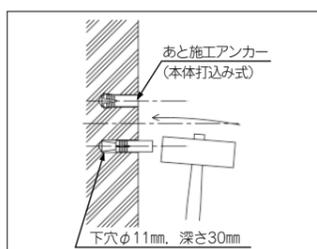
あと施工アンカー（本体打込み式）固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D31(1P) 4セット 	<ul style="list-style-type: none"> • 寸切ボルトM6×(モルタル厚+仕上厚+42mm) 4本 • 平座金 4ヶ • パネ座金 4ヶ • ナット (M6) 4ヶ

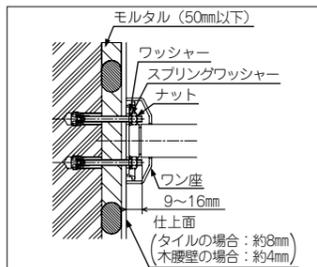
- ① 手すり現物を壁にあてて取付位置を決め、φ11 mm, 深さ30 mmの下穴をあけてください。

注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

下穴にあと施工アンカー（本体打込み式）を入れ、アンカーを打ち込みます。



- ② 寸切ボルト(現場調達)を取り付けた後、壁を仕上げます。寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9～16 mm出る長さが必要です。



- ③ フランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

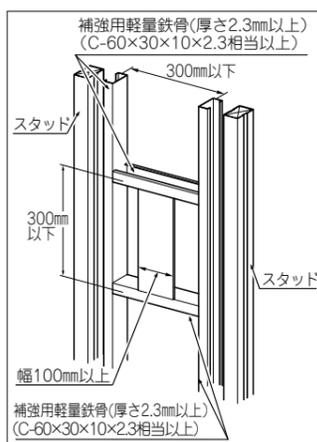
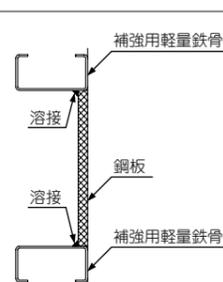
【軽量鉄骨下地】

(1) 中空壁用アンカー固定 鋼板現場調達の場合

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D30 1セット 	<ul style="list-style-type: none"> • 鋼板 (t=0.8mm以上4.0mm以下)

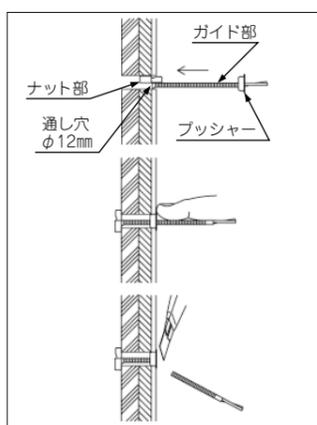
- ① 事前に図のように補強用軽量鉄骨を配置し、鋼板を溶接しておきます。

注意 鋼板は必ず鉄骨に溶接してください。
※強度が足りない恐れがあります。



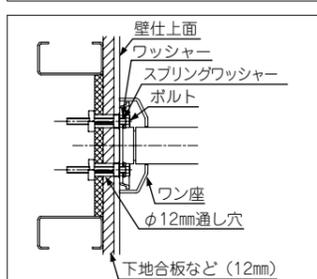
- ② 手すり現物を壁にあてて取付位置を決め、φ12 mmの通し穴をドリルであけます。

- ③ 中空壁用アンカーのナット部を折りたたんで下穴に挿入します。樹脂製のプッシャーを指で押し込みながら、樹脂製のガイド部を引っばります。カッター等で不要なガイド部を切り取ります。



注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

- ④ フランジの取付穴にワッシャー、ボルトを通し、プッシャーに差し込んで強固に締め付けてください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。



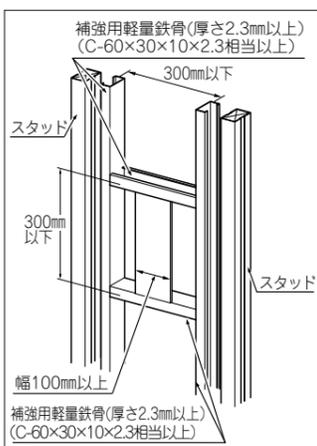
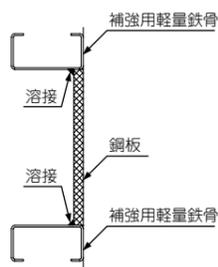
(2) ドリルねじ固定 鋼板現場調達の場合

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)
 • KF-D45 1セット

現場調達部材 (フランジ1カ所につき)
 • 鋼板 (t=3.2mm以上4.0mm以下)

- ① 事前に図のように補強用軽量鉄骨を配置し、鋼板を溶接しておきます。

注意 鋼板は必ず鉄骨に溶接してください。
 ※強度が足りない恐れがあります。



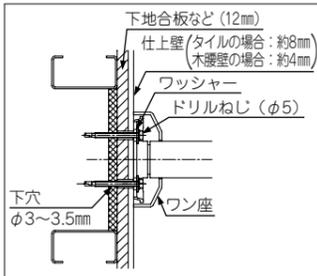
- ② 手すり現物を壁にあてて取付位置を決め、φ3～3.5 mmの下穴をドリルであけます。

施工ポイント

下穴を開けたほうが施工しやすく、手すりのキズつき防止に役立ちます。

※壁仕上げがタイルの場合は、タイル部にφ8 mmの下穴をあけてください。

- ③ ドリルねじにワッシャーを通し、手すりを固定します。最後にワッシャーを仕上げ面に押し付けます。



(3) 中空壁用アンカー固定 取付金具の場合

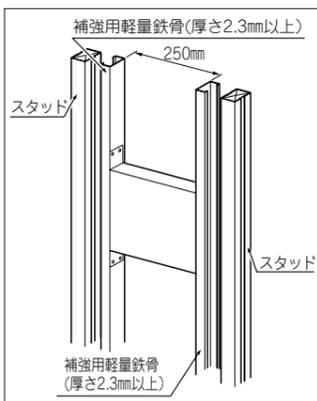
施工部材 (フランジ1ヶ所につき)
 • KF-D30 1セット • KF-D20 1セット

現場調達部材 (フランジ1カ所につき)
 (なし)

※手すりの取付位置や、各フランジの配置に応じて、取付金具を選択してください。
 KF-D21(フランジ2ヶ所用)1セットの場合はKF-D30が2セット必要です。

- ① 事前に図のように補強用軽量鉄骨を配置し、手すりの取付位置に合わせて取付金具を補強用軽量鉄骨にドリルねじ(φ4)で固定しておきます。
 ※ドリルねじ(φ4)は取付金具に同梱されています。

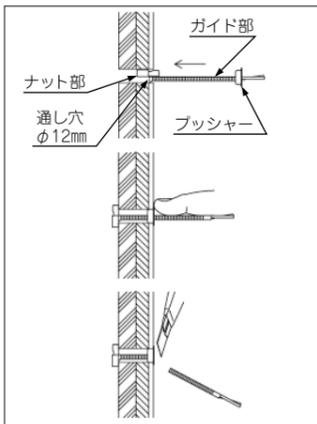
注意 • 取付金具を取り付ける場合は、補強用軽量鉄骨を寸寸が250mmになるように配置ください。
 • 取付金具は必ず、厚さ2.3mm以上の補強用軽量鉄骨に取り付けてください。
 ※商品が外れたり、壁が壊れたりすることがあります。



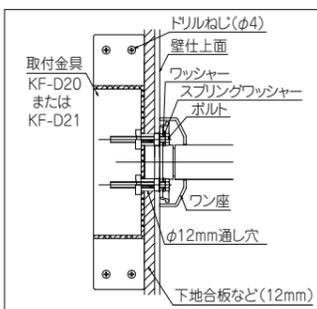
- ② 手すり現物を壁にあてて取付位置を決め、φ12 mmの通し穴をドリルであけます。
 ※手すりの脚部(フランジ)が取付金具のプレート部に当たる(おさまる)ように調整してください。

- ③ 中空壁用アンカーのナット部を折りたたんで下穴に挿入します。
 樹脂製のプッシャーを指で押し込みながら、樹脂製のガイド部を引っばります。カッター等で不要なガイド部を切り取ります。

注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
 ※強度が低下する恐れがあります。



- ④ フランジの取付穴にワッシャー、ボルトを通し、プッシャーに差し込んで強固に締め付けてください。最後にワッシャーを仕上げ面に押し付けます。



(4) ドリルねじ固定 取付金具の場合

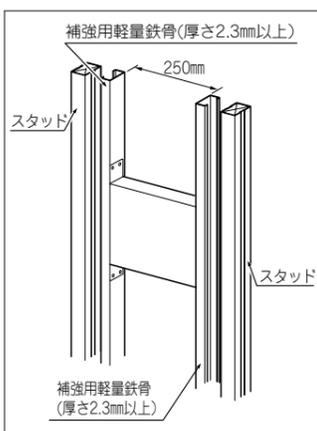
施工部材 (フランジ1ヶ所につき)
 • KF-D45 1セット • KF-D20 1セット

現場調達部材 (フランジ1カ所につき)
 (なし)

※手すりの取付位置や、各フランジの配置に応じて、取付金具を選択してください。
 KF-D21(フランジ2ヶ所用)1セットの場合はKF-D45が2セット必要です。

- ① 事前に図のように補強用軽量鉄骨を配置し、手すりの取付位置に合わせて取付金具を補強用軽量鉄骨にドリルねじ(φ4)で固定しておきます。
 ※ドリルねじ(φ4)は取付金具に同梱されています。

注意 • 取付金具を取り付ける場合は、補強用軽量鉄骨を寸寸が250mmになるように配置ください。
 • 取付金具は必ず、厚さ2.3mm以上の補強用軽量鉄骨に取り付けてください。
 ※商品が外れたり、壁が壊れたりすることがあります。



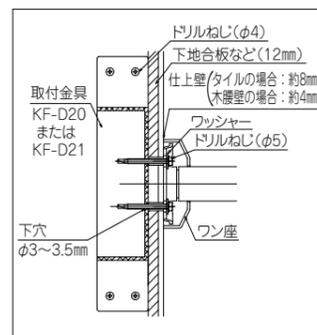
- ② 手すり現物を壁にあてて取付位置を決め、φ3～3.5 mmの下穴をドリルであけます。
 ※手すりの脚部(フランジ)が取付金具のプレート部に当たる(おさまる)ように調整してください。

施工ポイント

下穴を開けたほうが施工しやすく、手すりのキズつき防止に役立ちます。

※壁仕上げがタイルの場合は、タイル部にφ8 mmの下穴をあけてください。

- ③ ドリルねじにワッシャーを通し、手すりを固定します。最後にワッシャーを仕上げ面に押し付けます。



【パーティション用】

(1) はさみ込み固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)
 • KF-D23 1枚

現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
 • 皿頭ボルトM6×(パーティション厚+14mm) 4本
 • 平座金 4ヶ • バネ座金 4ヶ • ナット (M6) 4ヶ

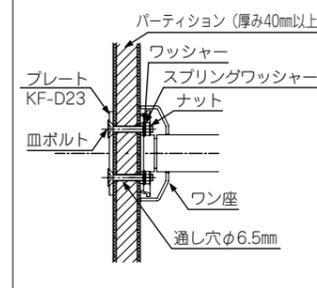
- ① 手すりの取付位置を決め、φ6.5 mmのボルト通し穴をドリルであけてください。

注意

事前にパーティションに手すりを取り付けられる強度があるかご確認の上、木材などで補強をしてください。
 ※取付強度が足りない恐れがあります。

トイレプースの裏側から、プレートをあてがって、ボルトを通し穴に差し込んでください。

- ② フランジの取付穴をボルトに通し、ナット、ワッシャーで締め付けてください。最後にワッシャーをパーティションに押し付けます。



(2) コーチねじ固定

※手すりの寸寸法が120 mm以下の場合のみ施工可能です。

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)
 • KF-D24 1セット

現場調達部材 (フランジ1カ所につき)
 (なし)

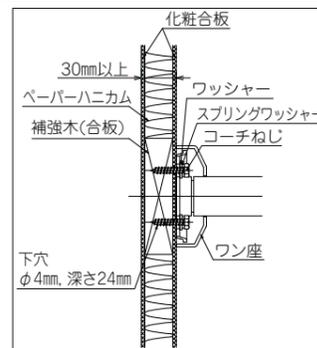
- ① 事前に手すりの取付位置に補強木(合板)を取り付けてあるパーティションをご用意ください。

注意

事前にパーティションに手すりを取り付けられる強度があるかご確認の上、施工してください。
 ※取付強度が足りない恐れがあります。

- ② 手すりの取付位置を決め、下穴をφ4 mmのドリルであけてください。

- ③ コーチねじにワッシャーを通し、フランジの取付穴より手すりを固定してください。最後にワッシャーをパーティションに押し付けます。



取扱説明書

●ご使用上の注意/パブリック用手すり樹脂被覆タイプ

- 安全のために守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。
- ※この「●ご使用上の注意/パブリック用手すり樹脂被覆タイプ」に記載されていない使い方をされ、それが原因で破損や事故が生じた場合は、保証いたしかねますので十分ご注意ください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
手すりがガタついたり、破損したままの使用はしないでください。 ※落下したり、破損部位でケガをする恐れがあります。	
ぶら下がったり、上に登ったりなど手すり以外の用途に使わないでください。また、硬いものをぶついたり、強い衝撃をあてたりしないでください。 ※手すりや取付部の壁が破損してケガをする恐れがあります。	
清掃時、シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。 ※変質・変形し割れたり折れやすくなる恐れがあります。	
1日1回以上、定期的到手すりを握って揺らしてみ、ガタつきや破損部位がないことを確認してください。 ※手すりの破損や脱落により、ケガをする恐れがあります。	
最大耐荷重は、垂直荷重 1500N・水平荷重 800Nです。(品番末尾が「J」の製品) それ以上の荷重を加えると外れてケガをする恐れがあります。 ※特注・サイズオーダー品の最大耐荷重は、垂直・水平荷重 590N(BL基準相当)です。	
ぬれた手や、せっけんのついた手で手すりを使用するときや、手すりがぬれていたり、せっけんがついているときは、十分に注意して使用してください。 ※手が滑り、重大事故につながる恐れがあります。	
介助が必要な使用者の場合、介助者は事故が発生しないように十分に注意してください。 ※使用者が手すりをしっかりつかめなかったり、つかみ損なったりなどにより、重大事故につながる恐れがあります。	
手すりや壁の間、あるいは手すりや他の器具の間に頭、手、腕などの身体が入り込まないように十分に注意して使用してください。 ※身体が挟まるなどにより、重大事故につながる恐れがあります。	

- 毛染剤、化粧品や除光液がついた場合はすみやかにふき取ってください。
- ※変色や変形の恐れがあります。
- 色落ちするタオル等を掛けしないでください。
- ※色移りすることがあります。
- ハンドドライヤー等で熱を直接あてないでください。
- ※商品が変形、変色する恐れがあります。
- 室温が常に65℃以上となる場所では、使用しないでください。
- ※商品が変色する恐れがあります。

●お手入れ

- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみこませた布でふき、その後すぐ水拭きをし、乾いた布で拭き取ってください。
- ※特に尿などアンモニア類が付着したまま放置すると、変色や光沢が損なわれる恐れがあります。
- 商品を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
- クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、すぐにタイルや商品を十分水洗いし、乾いた布で水分をふきとってください。
- ※商品を傷める恐れがあります。

●使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客様相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

フリーダイヤルは、携帯電話、PHS、IP電話などご利用になれない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL ☎ 0562-40-4050

FAX ☎ 0562-40-4053

●修理のご依頼は

お求めの取扱店または

LIXIL 修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

(ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>)

受付時間 9:00~19:00

365日受付